

ORACLE

クラウド戦略を変革する

IT リーダーのための ガイド



目次

- 01 クラウドで変化をナビゲートする
- 02 クラウドジャーニーを評価する
- 03 クラウドプラットフォームのニューノーマル
- 04 クラウドプロジェクトを簡略化する:チェックリスト
- 05 次世代クラウドとしてオラクルが最善の選択である理由



クラウドで変化をナビゲートする

クラウドジャーニーを評価する

クラウドプラットフォームの
ニューノーマル

クラウドプロジェクトを簡略化する：
チェックリスト

次世代クラウドとしてオラクルが
最善の選択である理由

クラウドで変化をナビゲートする

組織だけではなく、世界中の人々が過去に例がないほどの大きな変化に直面しています。世界規模のパンデミックにより、企業が新たなレベルの柔軟性、信頼性、継続性を達成するため、テクノロジーとデータにもっと頼る必要性が強まりました。企業の多くは、データからより多くの価値を引き出し、オートメーション効率を得るためクラウド上にオペレーションとインフラの改革を行い、ビジネスレジリエンス向上のためセキュリティ戦略を強化することに注力するようになっています。

これらすべては組織内の各部門が未来に備える上での基盤を提供する、強固なクラウド戦略につながります。イノベーションのスピード、数々のセキュリティ上の脅威、データ分析に関連する課題が増大する中、変化するニーズにうまく対応するには、企業は老朽化するカスタマイズされたテクノロジーシステムのせいで後れを取ってはなりません。どの企業も、この変化の時代に適応するだけでなく変革する必要がある、ビジネスのアジリティを促進するためクラウドとデータをどのように利用できるかにますます注目しています。



クラウドで変化をナビゲートする

クラウドジャーニーを評価する

クラウドプラットフォームの ニューノーマル

クラウドプロジェクトを簡略化する： チェックリスト

次世代クラウドとしてオラクルが 最善の選択である理由

揺るぎないイノベーターになる

このパンデミックが終息するときには、イノベーションを推進した企業とそうでない企業が明らかになるでしょう。オートメーションが組み込まれた、よりインテリジェントなクラウドを利用する選択をいま行うなら、時間・経費・エネルギーを節減することができ、後に他社と差をつけることができます。老朽化したデータ管理プラットフォームに別れを告げ、AI を活用してデータをふるいにかけるなら、IT 担当者が最も得意とする分野、つまり製品やサービスの差別化、市場シェアの増加、収益性の改善につながるイノベーション実現のためにより多くの時間を使うことが可能になり、企業が優位性を得ることができます。

より遠くへ、より迅速に、最初に到達する

新たな顧客の需要、新たなビジネスオペレーション条件、新たな市場ダイナミクスに対応するため、企業がアプリケーションをクラウドへ迅速に移行することは必要不可欠になっています。企業のクラウドプラットフォーム全体にわたるシームレスな統合により、ビジネスを変革するのに必要な効率とスケーラビリティを提供することができ、先行きが見えない時代にレジリエンスを向上するだけでなく、より遠くへ、より迅速に動き、最初に市場に到達することができます。

88%

の組織が

パブリッククラウド インフラストラクチャサービスを現在利用している



常時接続のセキュリティを導入する

大勢の人々がリモートワークを行っている現在、企業の多くは自社のセキュリティソリューションを見直しています。いまは、データガバナンスに取り組み、グローバルコンプライアンスおよび業界要件に準拠することにより、セキュリティ体制を向上させる絶好のチャンスと言えます。次に、コストを上げずに主要なインフラをモダン化することが、過去数か月にわたって繰り返し登場する論題となっています。ワークロードを既存のデータセンターに移動するにせよ、パブリッククラウドへ移行するにせよ、最も重要なのは信頼性とパフォーマンスです。自社のサイバーセキュリティを信頼できるなら、企業をより一層成長させることができます。

本書では、以下の内容について詳しく知ることができます。

- 「デジタルファースト」戦略のメリット
- パンデミック下における IT 課題をクラウドで克服する
- 次のクラウド移行プロジェクトの前に考慮すべき点
- 次世代クラウドを選択することのメリット
- IT 部門の意思決定者の 38% が、すべてのアプリケーションとインフラをクラウドへ移行することを検討している
- 組織の 88% が、パブリッククラウド インフラストラクチャサービスを現在利用している

出典：[CIO マガジン：How Next-Generation Cloud Paves the Way to the 'Digital First' Enterprise](#) (次世代クラウドが「デジタルファースト」のエンタープライズへの道を開く)

クラウドで変化をナビゲートする

クラウドジャーニーを評価する

クラウドプラットフォームの
ニューノーマル

クラウドプロジェクトを簡略化する：
チェックリスト

次世代クラウドとしてオラクルが
最善の選択である理由

クラウドジャーニーを評価する

こうした新たな予測不可能な状況ゆえに、組織はこれまでになく IT に頼るようになっていきます。そのため、IT は場所にとらわれない多様な働き方に対応するため、より大きなネットワークやストレージの容量を持つシステムに頼る必要が生じています。こうした新たな課題に取り組む上で、弾力性とハイパースケールな機能を持つクラウドコンピューティングが鍵となり得ます。

クラウドジャーニーにおいてどこまで進んでいるかに関わりなく、ビジネス全体にわたって最大限のメリットを得るための計画を整えることが、最も重要になります。どんなシステムをモダン化するにしても、リスク評価と途中で微調整する余地が必要になってきます。クラウドの数あるメリットをすぐに活用するためには、移行モデルとベストプラクティスに従うことが不可欠です。

オラクルが提案するクラウドへの道



Oracle Cloud への移行

エンタープライズワークロードを迅速に、経済的に、柔軟にクラウドへ移行する



データプラット フォームのモダン化

データの複雑性を軽減し、成長を促進する意思決定を可能にする



クラウドを 保護する

クラウド内の最も価値のあるデータを保護する



最適化と革新

クラウドをイノベーションの基盤とする

クラウドで変化をナビゲートする

クラウドジャーニーを評価する

クラウドプラットフォームの
ニューノーマル

クラウドプロジェクトを簡略化する：
チェックリスト

次世代クラウドとしてオラクルが
最善の選択である理由

典型的なクラウドデプロイメント プロジェクトの種類には、以下のものが含まれます。

1. Oracle Cloud への移行

予期せぬ混乱に直面せざるを得ない企業が、アプリケーションをクラウドへ迅速に移行する必要があることは明らかです。オラクルが提供するパッケージまたはデータベースアプリケーションの移動、カスタムアプリケーションの実行スピードの加速、VMware ワークロード移行のいずれを目指すにせよ、再構築せずにクラウドの利点を実現できる必要があります。オラクルは、お客様がイノベーションに注力し、企業の成長を促進させることができるよう、エンタープライズワークロードをクラウドへ迅速に、経済的に、柔軟に移行するお手伝いをいたします。

エンタープライズワークロードを Oracle Cloud へ移行するお客様が得られるメリットは、以下のとおりです。

- 30% ～ 50% のサービスコスト削減
- 最大 70% の移行工数削減
- 55% ～ 100% のコストパフォーマンス向上
- 30% ～ 40% の運用コスト削減

出典：[Pique Solutions レポート](#)

[Oracle でクラウド移行を加速する方法について、詳しくご覧ください](#)

2. データプラットフォームのモダン化

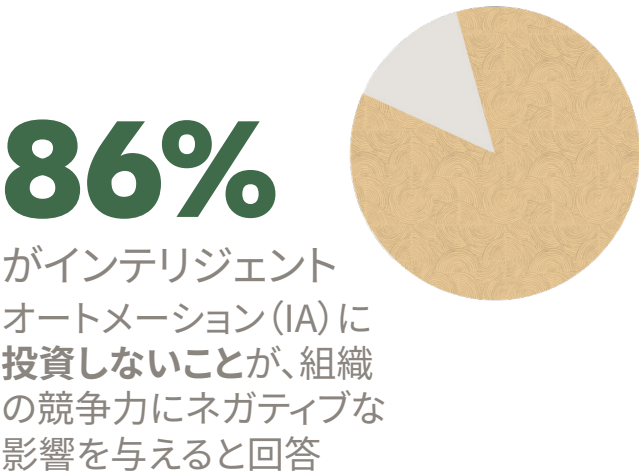
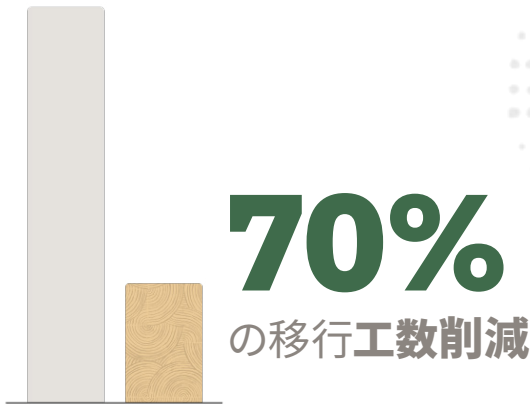
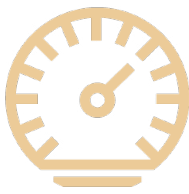
今日の業界において変化を推進している共通項は、データです。データに基づくイノベーションは、顧客の期待を一新しているだけでなく、あらゆるビジネスをより軽快で、対応力に富み、パーソナライズされたものへと変える原動力となっています。データを知ることは顧客を知ることを意味しますが、クラウドコンピューティングは、全面的にデータの革新的な利用に基づいている、全く新しい種類の企業を生み出しました。より迅速で効率の良いデータ管理、またはデータから優れたインサイトを得ることが目標なら、Oracle Cloud でデータプラットフォームをモダン化することにより、成長を促進する意思決定を可能にするためデータの複雑性を軽減することができます。

- 回答者の 86% が、インテリジェント・オートメーション (IA) に投資しないことが、組織の競争力にネガティブな影響を与えることに、強くまたはある程度同意すると述べています。
- 回答者は、インテリジェント・オートメーション (IA) に期待できるメリットのトップ 4 位に、カスタマーエクスペリエンスの向上 (36%)、イノベーション (35%)、収益性 (32%)、製品／サービス品質 (31%) を挙げています。

出典：[HBR The 2025 Imperative: Intelligent Automation Now \(HBR 2025 インペラティブ：インテリジェント・オートメーションの今\)](#)

[クラウドでモダン化を図ることにより、いかにデータの無限の可能性を実現できるのか、詳しくご覧ください](#)

55% ～ 100%
のコストパフォーマンス向上



クラウドで変化をナビゲートする

クラウドジャーニーを評価する

クラウドプラットフォームの
ニューノーマル

クラウドプロジェクトを簡略化する：
チェックリスト

次世代クラウドとしてオラクルが
最善の選択である理由

3. クラウドを保護する

以前は、クラウド導入を避ける理由の一つにセキュリティの欠如がありました。しかし今では、組織の多くがクラウドデプロイメントによってサイバーセキュリティのプロファイルが改善されたことを認めており、63% は実際にクラウド環境においてサイバー攻撃からの保護が強化されていると回答しています。オラクルには、データとアプリケーションを保護してきた数十年にもわたる経験があります。Oracle Cloud Infrastructure は、お客様がグローバルコンプライアンス、データガバナンス、規制要件、業界要件により良く対応できるよう、よりセキュアなクラウドを提供いたします。

- 企業の 87% が、セキュリティ管理において人工知能が不可欠であると考えている
- 企業の 4 分の 3 が、自社のデータセンターよりもクラウドの方が安全であると感じている

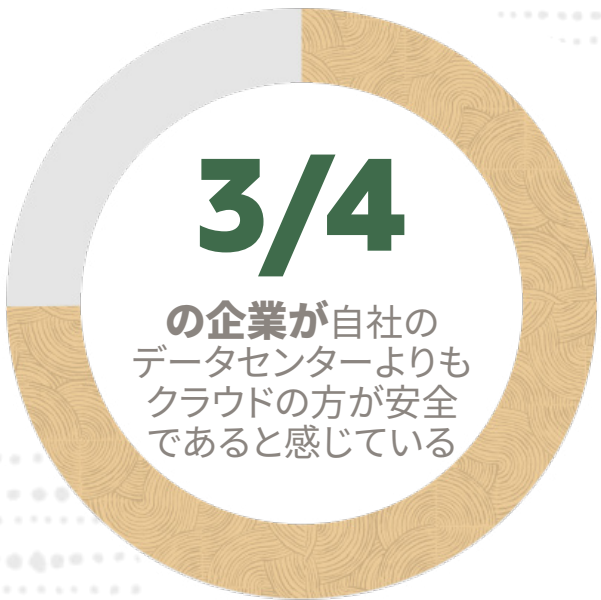
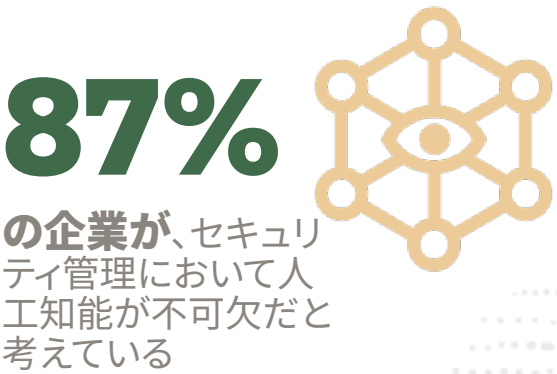
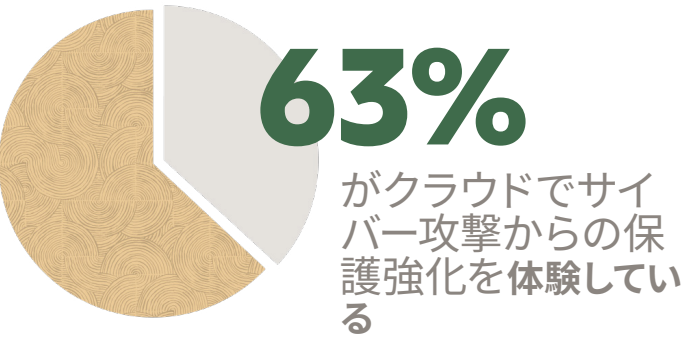
出典：[KPMG Cloud Threat Report \(KPMG によるクラウド脅威レポート\)](#)

[オラクルが、貴社の最も価値のあるデータをクラウドとオンプレミスでいかに保護することができるのか、詳しくご覧ください](#)

4. 最適化と革新

企業にとって望みうる最高のパフォーマンスを確保するには、プロセッサ、ストレージ、オペレーティングシステム、データベース、ネットワークなど、インフラストラクチャレイヤーすべての統合が求められます。Oracle Cloud のオープンで統合されたアプリケーション開発プラットフォームにより、開発者はコーディングを短縮し、イノベーションを推進するために必要なウェブ、モバイル、クラウドネイティブアプリケーションの構築に時間を充てることができます。

[Oracle Cloud が、いかにクラウドネイティブアプリケーションの開発を促進し、貴社のクラウドアプリケーション全体にわたる統合と構築を行うのか、詳しくご覧ください](#)



クラウドで変化をナビゲートする

クラウドジャーニーを評価する

クラウドプラットフォームの
ニューノーマル

クラウドプロジェクトを簡略化する：
チェックリスト

次世代クラウドとしてオラクルが
最善の選択である理由

クラウドプラットフォームのニューノーマル

世界的な危機のため組織が IT 予算を切り詰めるにつれて、ビジネスのアプローチ方法をデジタル変革する理由はますます増えています。リモートワークやソーシャルディスタンスの必要性はますます高まっており、どこの誰にでも利用可能な製品やサービスを作ること重点が置かれるようになっていきます。クラウドベースのソリューションと容量の増加が欠かせないものとなっているのはそのためです。頼れるクラウドプロバイダーは数多くありますが、堅牢なインフラ、オートメーション、オンプレミスワークロードのクラウド移行に必要なサポートのすべてを適切に組み合わせて提供するプロバイダーを探すのは難しいかもしれません。

多くの IT 部門の共通の課題は、パフォーマンス、セキュリティ、移行オプションが大抵後回しにされていた、10 年前のクラウドテクノロジーの維持管理です。これらの初期のクラウドは主に 2 つのタイプの顧客が対象となっていました。クラウドネイティブ基盤で新規事業を構築している顧客、そして、オンプレミスから必須ではないワークロードを移行している顧客です。しかし、この老朽化するインフラの維持管理は、経費がかかるだけでなく、重要なプロジェクトから価値ある人材を奪ってしまうのです。



クラウドで変化をナビゲートする

クラウドジャーニーを評価する

クラウドプラットフォームの
ニューノーマル

クラウドプロジェクトを簡略化する：
チェックリスト

次世代クラウドとしてオラクルが
最善の選択である理由

新たなエンタープライズ系ソフトウェアアプリケーションのほとんどが、デフォルトでクラウドを実行しており、本番のワークロードにおいても、まずクラウドが選ばれていることから、次世代クラウドが誕生しました。最も要求の厳しいワークロードを予測可能かつセキュアに実行できるよう、特に最適化が図られたクラウドソリューションをまさに組織は期待しています。

さらに、どんな「デジタルファースト」戦略であっても、データに強くフォーカスすることが中心であり、これはビジネス上の意思決定や顧客とのやりとりすべてに影響を与えます。デジタルファーストの実現は、デジタルトランスフォーメーションの達成に不可欠なステップです。

- クラウド関連支出はコロナ危機により後押しされ、2020 年の第 1 四半期に 37% 増の 290 億米ドルに達しました
- 全体として IT 支出は 8% の減少が予測されているものの、クラウド関連支出は 1 年で 19% の増加が見込まれています
- 最新の人工知能モデルは、約 10 年前のモデルと比べて 30 万倍以上のコンピューティング能力を必要とします

出典：[PwC: Can You Meet Customer Demand for Cloud-based Computing? \(PwC: クラウドベースコンピューティングの顧客需要を満たせますか?\)](#)

290 億米ドル

37%

のクラウド関連
支出の増加



人工知能モデルに

↑

30 万倍

のコンピューティング能力が必要



クラウドで変化をナビゲートする

クラウドジャーニーを評価する

クラウドプラットフォームの
ニューノーマル

クラウドプロジェクトを簡略化する：
チェックリスト

次世代クラウドとしてオラクルが
最善の選択である理由

クラウドプロジェクトを簡略化する：チェックリスト

組織がクラウド移行プロジェクトで成功するためには、プロジェクトに乗り出す前にいくつかの鍵となる要素を考慮しておく必要があります。



計画を策定する

組織の支出が多すぎる分野と、そのリソースを再配分できる分野を見極めることは、極めて重要です。クラウドに移行するにあたって、導入の目的、解決したい課題、ポテンシャルのあるユースケースを提示してみることは価値があります。また、計画の価値を最大限に生かし必要性を強く主張するために、早い段階で主要な利害関係者と会って話すことも重要です。



組織内で適切なスキルとリソースを開発する

どんなクラウド導入計画においても、労働力の技能格差の問題が生じ得ますが、それを最小限に抑えることは可能です。アプリケーションの開発や移行に伴い、新たな労働力を管理するスキルを開発することは極めて重要になっています。最小限のコード開発により、専門知識をほとんど持たない組織でもクラウドネイティブ機能を活用し、かつIT、データ、アナリティクスを心配することなくコアビジネスプラクティスに注力することができます。



潜在的なデータリスクとデータ損失を評価する

適切なプランニングをしていないと、移行の最中に機密データが漏洩してしまう危険があります。結果として、データがクラウドでどのように構成され、バックアップされるのかを迅速に理解することが不可欠です。



不測の運用コストを特定する

オンプレミスから移行する組織に対して、クラウドは従量制の価格モデルを提供しています。しかし、それと共に無駄なコストを伴うこともあります。移行プランの一部として、ストレージ、コンピュー、データ転送のコストを理解しておくことはとても重要です。



モニタリング・ツールの活用

オンプレミスのネットワークやアプリケーション管理からクラウドへ移行することは、挑戦となり得ます。そのため、ワークロードパフォーマンスをモニタリングし、パフォーマンスにとって特定の脅威となる状況を自動警告するツールを活用することは大切です。



全体のセキュリティリスクを評価する

組織は、増大する脅威の状況を深刻に受け止めなくてはなりません。強力なセキュリティ体制と安全でシームレスな移行を確保するため、早い段階でセキュリティ管理を導入するプランを立てておくことは非常に重要です。

クラウドで変化をナビゲートする

クラウドジャーニーを評価する

クラウドプラットフォームの
ニューノーマル

クラウドプロジェクトを簡略化する：
チェックリスト

次世代クラウドとしてオラクルが
最善の選択である理由

次世代クラウドとしてオラクルが 最善の選択である理由

どんな企業にとっても、継続的に適応し革新することは望ましい特性と言えますが、現在の混乱した環境においては必須事項となっています。迅速なスケールアップを行う自信と、膨大な量のデータを分析するツールは、自然と湧いてくるものではありません。それを実現するのは、一晩中目を覚まして次の問題が起きるのを待っていることに疲れた人々です。貴社の未来を成り行きに任せるのではなく、むしろ主導権を握り、企業そしてあなたの継続的な成功につながる選択をすることが力の源となるのです。

ジャーニーをすぐに始めよう

いかにクラウドが変化を見据える上でのサポートとなるのか詳しく知る

無料トライアルで
Oracle Cloud を
体験してみる

オラクルに
問い合わせる



Copyright © 2020, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.本文書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載される内容は予告なく変更されることがあります。本文書は一切間違いがないことを保証するものではなく、さらに、口述による明示または法律による黙示を問わず、特定の目的に対する商品性もしくは適合性についての黙示的保証を含み、いかなる他の保証や条件も提供するものではありません。オラクル社は本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書は、事前に弊社の書面による許可を得ることなく、いかなる目的のためにも、電子的あるいは機械的を含むいかなる形式あるいは手段によっても複製または送信することはできません。Oracle および Java は、Oracle とその関連会社の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標です。

ORACLE

